令和８年１１月２６日
産　業　政　策　課
担 当：川畑、田原
内 線：4421
外 線：(076)225-1513

石川県地域産業クラスター計画（食文化・観光分野、部素材加工技術を活かした航空関連分野）の策定について

県は、国の「地域未来戦略」に基づき策定を進めてきた地域産業クラスター計画のうち、「食文化・観光分野」と「部素材加工技術を活かした航空関連分野」の２分野について、国との協議が整い、計画を策定しました。

本日、国の「地域未来戦略に関する関係副大臣等会議（第９回）」において、山野知事が高市総理に報告しました。

記

１　会議の概要

日時：１１月２６日（木）　１３：２０～１４：００

場所：首相官邸（山野知事はオンラインで参加）

議事：（１）藤井大臣によるご報告

・Ｃプラン策定に対する国の伴走支援体制について

・「戦略産業クラスター計画の素案の改訂」の説明

（２）各地方経済連合会等からの発言

（３）**地域産業クラスター計画**及び地場産業成長プランの報告

※会議では、上記のうち①食文化・観光分野について１分程度で説明

２　計画の概要

①食文化・観光分野

食文化・観光の計画では、加賀料理や地酒、伝統工芸、温泉などの集積を活かし、金沢・加賀・能登・白山の４地域で、食・工芸・宿泊などの事業者が業種を越えて連携する。「石川ならではの食文化を核とした体験価値の向上」を共通の目標に、「人材・収益・投資の好循環」を生み出し、産業の成長と能登の創造的復興につなげる。

②部素材加工技術を活かした航空関連分野

航空関連産業の計画では、難削材加工から特殊工程までの一貫生産体制や、炭素繊維複合材料の研究開発基盤などの集積を活かし、県内企業が工程を分担・連携して、拡大する航空機需要の取り込みを図る。設備投資への支援、川下企業とのマッチングなどを通じて、県内企業の参入と受注拡大を後押しし、次世代空モビリティなど成長分野への技術展開にもつなげる。

３　その他

本日の関係副大臣等会議（第９回）の議事次第・配布資料については、以下の内閣官房地域未来戦略本部事務局ホームページにて公表予定です。

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/chiikimirai/index.html

石川県　食文化・観光分野における地域産業クラスター計画の概要

1．産業領域

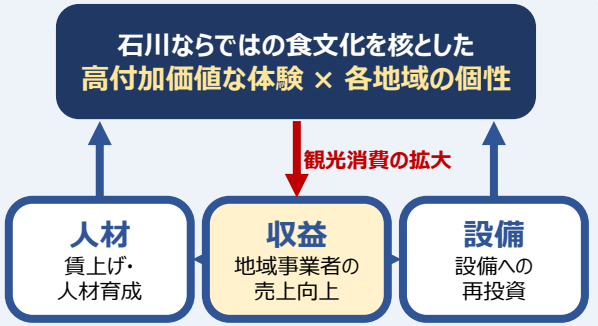
食文化・工芸・自然等の地域資源を核とする「食文化・観光産業」

【特定の理由】

加賀料理・鮨・地酒、伝統工芸、温泉・自然など多様な地域資源が高密度に集積し、高付加価値旅行市場の拡大を地域の付加価値向上につなげられるため

2．対象エリア

金沢（金沢市・かほく市・津幡町）、加賀（加賀市・小松市・能美市）、
能登（七尾市・輪島市・珠洲市ほか6市町）、白山（白山市）




食文化(加賀料理)


料理人の育成

3．目指す姿（目標）

(1) 現状の整理

・インバウンド・高付加価値旅行市場が拡大し、食や文化の「体験」需要が高まる

・加賀料理・鮨・地酒、伝統工芸、温泉・自然など多様な地域資源を、もてなし文化とあわせて一体的に提供できる

・一方、県内周遊・滞在の拡大、消費の高付加価値化、担い手確保と生産性向上が課題

(2) 目指すべき目標（KGI）

2027～2031年度の期間合計

・官民設備投資額	**約270億円**
・付加価値増加額	**約890億円**
・産業人材育成数	**約1,000人**

単年度（2031年度）：約54億円／約180億円／約200人

4．勝ち筋

(1) 基本戦略

共通の目標　**石川ならではの食文化を核とした体験価値の向上**

① **食文化を活かした体験価値の創出**
高付加価値旅行市場 × 食文化資源の集積

② **エリアブランドの深化**
地方分散ニーズ × 4地域の個性と金沢の集客力

③ **技の継承と人づくり**
本物志向の高まり × 食・工芸・もてなしの技

④ **基盤強化（DX・新事業・販路）**
生産性向上と人手不足に対応する横断的な基盤

(2) 目指すべき姿

食文化を核とした高付加価値な体験が国内外から選ばれ、人材・収益・投資が地域内で循環する食文化・観光産業クラスターを各地域に確立

5．政策手段

(1) 取組に向けた課題

①地域資源を体験・拠点に磨き上げ、収益化
②地域の個性の発信と周遊・滞在の促進
③担い手の確保・育成と技の継承
④生産性向上と供給力・収益力の強化

(2) 講じるべき政策パッケージ

① ・食文化の魅力の更なる向上
・食・工芸・宿泊等の連携によるコンテンツ造成
・滞在拠点の高付加価値化
・食材のブランド化と地産地消

② ・地域の個性・強みの再整理と重点化
・能登の創造的復興と価値の再構築
・魅力ある受け地づくり
・ターゲットの明確化とプロモーション

③ ・料理人・職人・生産者の育成・継承
・観光人材(もてなしの技の担い手等)の育成
・多様な人材の参画促進

④ ・DX・省力化による生産性向上
・異業種連携・新技術による新事業創出
・インバウンド誘客、国内外の市場開拓

石川県　部素材加工技術を活かした航空関連産業クラスター計画の概要

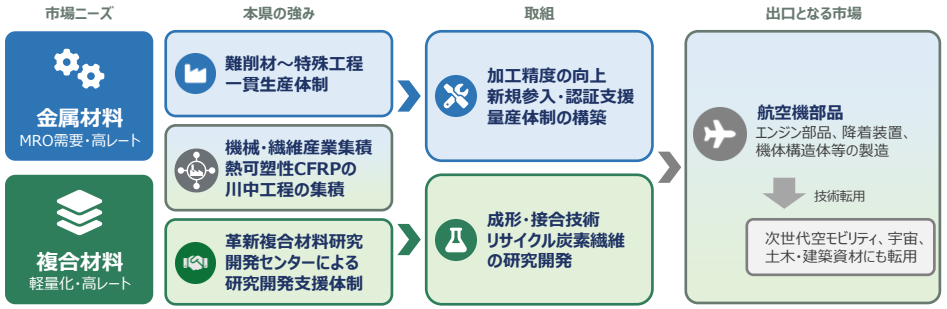
1．産業領域

部素材加工技術を活かした航空関連産業

[特定理由]難削材加工・特殊工程の一貫生産体制と、熱可塑性CFRPの川中工程を中心とした複合材料の研究開発・生産基盤を有する

2．対象エリア

金沢市、七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、中能登町



3．目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- 単通路機を中心に航空機需要が拡大し、量産体制の構築と機体の軽量化が求められている
- 本県は、難削材加工・特殊工程と複合材料の双方の技術基盤を有する

（2）目指すべき目標

2027～2031年度の期間合計

- 官民設備投資額 約220億円
- 付加価値増加額 約550億円
- 産業人材育成数 約800人

単年度(2031年度):約44億円／約110億円／約160名

4．勝ち筋

（1）基本戦略

①金属素材:難削材加工技術等の高度化
②複合材料:熱可塑性CFRPやリサイクル炭素繊維の研究開発・生産基盤の促進
③川下産業との接続:受注開拓アドバイザーの活用や、東海・北陸連携コンポジットハイウェイ構想等を通じた連携
④他産業への技術転用

（2）目指すべき姿

- 技術の高度化や県内企業の工程分担・連携により、域内取引を拡大
- 高付加価値部品の供給拡大により、売上高・付加価値額を向上
- 他産業への波及、雇用創出・賃上げ等

5．政策手段

（1）取り組みに向けた課題

- 設備投資・研究開発の資金負担
- 技術面での連携先の確保
- 専門人材・評価体制の不足
- Nadcap等の国際認証取得　など

（2）講じるべき政策パッケージ

- **連携強化・受注開拓**
  企業ネットワークの形成・運営等
- **研究開発支援**
  研究開発、評価・検査への支援等
- **事業化支援**
  設備投資、認証取得への支援等
- **事業環境整備**
  産業用地、物流インフラの整備等